

「侵略やめよ」「世論で包囲を」と各地で思い思いのスタンディング

「ロシアによるウクライナへの侵略行為は絶対に許せない」「世論で包囲して交渉で解決を」「戦争につながる軍事対立反対」と、思い思いのスローガンを掲げたスタンディングが、先週も各地で繰り広げられました。

19日(土)はあいにくの雨模様の天気でしたが、9条の会などの市民団体が中心となり、大潟ショッピングセンター前(写真左下)、カ

ニ池交差点(写真右下)で、道行くドライバーなどに平和の尊さと世界で平和の枠組みを作ることの大切さを訴えました。

参加したある市民は、「今この瞬間も罪のない市民が犠牲になっていることに思いをはせると、居ても立ってもいられないという思いで立った。ロシアが侵略をやめるまで立ち続けたい」と語りました。



吉川区で大規模土砂崩れ

党議員団が現地に入り調査

吉川区川谷地内で。県道78号大潟高柳線を巻き込む大規模な土砂崩れ(幅110メートル長さ300メートル)が発生したことが16日早朝、明らかになりました。現場は2005年6月にも同様の土砂崩れが発生しましたが、今回は前回をはるかに上回る規模です。日本共産党議員団は21日、地学団体研究会の専門家らと現地を訪れ、被害の規模や状況を調査しました。同行した専門家の話では、道路部分の土砂を撤去しても上からまた崩落する危険性があるため、復旧には上部の土砂を撤去するなどの大規模工事が必要ではないかとのことで

地質学の専門家らとともに

災害復旧は「原状復帰」が原則ですが、それではまた同様の災害を招きかねません。杓子定規な法適用ではない施策が必要のようです。



上野議員に心こもった絵手紙

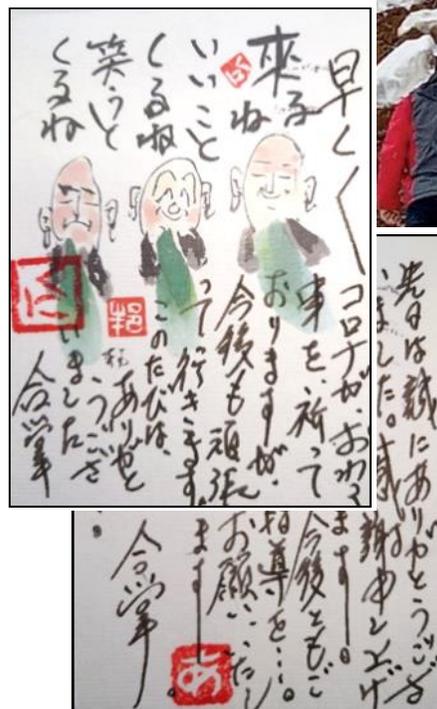
市議会文教経済常任委員会(上野公悦委員長)と市内の飲食・宿泊・観光関係事業者のみなさんとの意見交換が、先月25日に行われました。

会では、まん延防止等特別措置が適用されている中、ギリギリの苦しい状況に追い込まれている状況が赤裸々に

語られたり、この会の直前に自ら命を断った仲間の無念さなどが話されたりしました。

上野議員は、「あらゆる手立てをつくして支援策を講じることの緊急性を改めて感じた」と語り、支援のために全力を尽くしていく決意を表明しました。

その後、出席者のお一人から4枚の心のこもった絵手紙が上野議員宛てに届きました。上野議員は「人生訓とも言える言葉に胸が熱くなった」とのことです。



日本共産党上越市議員団ニュース
No.746 2022年3月27日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

PCR検査等実施件数 (3月18日現在)	
PCR検査実施件数	26,903件(前々週+1592)
陽性件数	1,614件(前々週+393)
抗原検査実施件数	14,339件(前々週+1416)
陽性件数	603件(前々週+180)
上越市内陽性件数	1,749件(前々週+493)